

令和4年11月14日

各位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
 代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢
 (コード 2388 東証グロース市場)
 問合せ先 開示担当 小竹 康博
 (TEL 03 - 6225 - 2207)

令和4年9月期連結業績及び個別業績の前年同期実績からの差異に関するお知らせ

当社は、業績予想の公表を差し控えさせていただいておりますが、令和4年9月期（令和3年10月1日～令和4年9月30日）の業績が、前年同期の実績値に比較して重要な差異を生じることとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和4年9月期 連結業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前年同期実績(A) (令和3年9月期)	5,772百万円	226百万円	△392百万円	△1,183百万円	△33.09円
今回発表業績(B) (令和4年9月期)	682百万円	85百万円	160百万円	55百万円	1.54円
増減額(B-A)	△5,089百万円	△141百万円	553百万円	1,238百万円	—
増減率(%)	△88.2%	△62.4	—	—	—

2. 差異の理由

売上高につきましては、前連結会計年度末に Digital Finance 事業を営む連結子会社の Group Lease PCL. が持分法適用関連会社へ異動したことに伴い、コンテンツ事業の売上高のみが計上されることとなったことにより、5,089百万円減少し682百万円（対前年同期比88.2%減）となっております。

営業利益につきましても、上記売上高減少が主な要因となり141百万円減少し85百万円（対前年同期比62.4%減）となっております。

経常利益につきましては、上記の要因のほか、営業外費用が前年同期849百万円計上していたところ、当連結会計年度は107百万円の計上となる大幅な減少、特に社債利息が前年同期729百万円から当連結会計年度は計上がなくなったことが大きく影響した結果、前年同期より553百万円増加し160百万円（前年同期は392百万円の経常損失）となっております。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記の要因に加え、前年同期は減損損失540百万円、投資有価証券売却損161百万円、投資有価証券評価損973百万円等、合計1,702百万円の特別損失を計上していましたが、当連結会計年度は46百万円と大幅に減少した結果、前年同期より1,238

百万円増加し 55 百万円（前年同期は 1,183 百万円の純損失）となっております。

3. 令和4年9月期 個別業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前年同期実績(A) (令和3年9月期)	658百万円	104百万円	138百万円	△1,626百万円	△45.46円
今回発表業績(B) (令和4年9月期)	682百万円	108百万円	148百万円	△629百万円	△17.60円
増減額(B-A)	24百万円	4百万円	10百万円	1,009百万円	—
増減率(%)	3.7%	4.4%	7.8%	—	—

4. 差異の理由

売上高、営業利益、経常利益につきましては、前年同期との大きな差異は発生しておりません。

当期純利益につきましては、前年同期は関係会社株式評価損を 1,746 百万円計上していたところ、当事業年度は貸倒引当金繰入額を 737 百万円計上することとなり、1,009 百万円増加し△629 百万円（前年同期実績は△1,626 百万円）となっております。

以 上